

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	眼科疾患の診断および治療法を予測する AI の作成
研究責任者	眼形成眼窩外科 上村 和久
研究実施体制	当研究は京都府立医科大学眼科学教室との共同研究です。 共同施設の研究責任者: 京都府立医科大学眼科学教室 渡辺彰英
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2028 年 12 月 31 日
対象者	2010 年 1 月 1 日から 2028 年 6 月 30 日までの間に、眼形成眼窩外科で診断を受けられた方
研究の意義・目的	診療記録の情報をもとに、眼疾患の診断や最適な治療法を選択することのできる人工知能(AI)を作成します。本研究は、すべての眼科医師が、当院の専門医と同様の診療を行うための助けとなる AI を作成することを目指すもので、医学的にも社会的意義のあるものです。
研究の方法	当院眼形成眼窩外科において診療を受けられた方で、眼科疾患と診断された患者さんの診療録(カルテ)よりデータを取得します。これらのデータより当院の専門医と同等レベルの治療方針を示すことのできる AI を作成します。 診療録(カルテ)の取り扱いですが、氏名、住所など個人を特定できる情報を完全に消して、個人が特定できないようにします。取得した診療記録について、一部を教師データとして AI 作成に用います。また、残りの一部を AI がきちんと作成できているかを検証するためのデータとします。
個人情報の取扱い	患者さんの診療録(カルテ)データをこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できない USB ドライブに保存します。この USB ドライブが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。 また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、患者さんが特定できる情報を使用することはありません。 なお、この研究で得られた情報は研究責任者が厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 眼形成眼窩外科 上村 和久

